

長岡京市小中学校でのICT整備・活用について

令和8年4月 長岡京市教育委員会

1 GIGAスクール構想とは？



児童生徒向けの1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境の実現を目指します。

これまでの教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出します。

これまでの教育実践の蓄積 × ICT = 学習活動の一層充実
主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

図：文部科学省『「GIGAスクール構想」について』より

2 児童生徒に身につけさせたい情報活用能力とは？

学習活動において必要に応じてコンピュータ等の情報手段を適切に用いて情報を得たり、情報を整理・比較したり、得られた情報をわかりやすく発信・伝達したり、必要に応じて保存・共有したりといったことができる「学習の基盤となる力」の習得を目指します。

3 タブレット活用について

タブレットは、鉛筆やノート等と同様に、学ぶためのツールです。

学校では、タブレットを効果的に活用した授業を進め、児童生徒の学びをさらに充実させていきます。



<裏面に続きます>

<タブレットを活用した授業のイメージ>



図：文部科学省 『「GIGAスクール構想」について』 より

4 タブレット活用段階（長岡京市）

- ステップ1 「すぐにも」「どの教科でも」「誰にも」活かせる
- ステップ2 教科の学びを深める、教科の学びの本質に迫る
- ステップ3 教科の学びをつなぐ、社会課題の解決や一人一人の夢の実現に活かす



⇒ アナログとデジタルのベストミックスの追究

～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に活かす～

- ・教師が、児童生徒の発達段階・授業のねらいに応じて、最適な学習方法・教材等を提示する。
- ・児童生徒自身が、自分の学習にあった活用方法を考え、課題の解決を図る。

本市では、令和3年度より、上記のような「学びの変容イメージ」をもち、学習の目的や発達段階等に応じながらタブレットの活用を進めています。

5 本市におけるICT整備の概要

- ・児童生徒に1人1台タブレット（iPad）を貸与
- ・校内Wi-Fi整備、高速インターネット回線の整備
- ・教室に保管庫〔電源キャビネット〕を配置

令和8年度は端末を更新し、引き続き活用を進めていきます。
家庭への持ち帰りもしますので、タブレットの取り扱いにはご留意いただきますようよろしくお願いいたします。

